

【業種コード】 【職種コード】 【離職理由】 を選択するときに読んでください。

【業種コード】 ※雇用契約を締結している企業の業種を調べて選択してください。

コード	業種
1	食料品製造業、鉄鋼業、電子部品・デバイス・電子回路製造業など
2	各種商品卸売業、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業、飲食料品小売業など
3	社会保険・社会福祉・介護事業など
4	学校教育、その他の教育、学習支援業など
5	医療業など
6	通信業、インターネット附随サービス業、洗濯・理容・美容・浴場業、広告業、娯楽業、自動車整備業など
7	飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業など
8	地方公務など
9	銀行業、保険業（保険媒介代理業，保険サービス業を含む）など
10	郵便業（信書便事業を含む）、鉄道業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業など
11	総合工事業、職別工事業、設備工事業など
12	不動産取引業、不動産賃貸業・管理業、物品賃貸業など
13	宿泊業など
14	電気業、ガス業、水道業など

★雇用契約を締結している企業の、主な事業に合致する業種のコードを選んでください。

### 【職種コード】

★該当するコードがない場合は、最も近いと思われるコードを選んだ上で、

「具体的に記載(主な仕事)」欄に詳しく記載してください。

※以下に該当する場合には「具体的に記載(主な仕事)」欄に右から選んで記載してください。

該当する場合	「具体的に記載(主な仕事)」欄
福祉事業所で支援者として採用された場合	A型の支援者、B型の支援者、移行の支援者、●●の支援者
農作業に従事する場合	貸し農園での作業、自社農園での作業

### 【離職理由】

・「職場の雰囲気、人間関係」を選択する場合は、備考欄に詳しく記載してください。

★「その他」を選択する場合は、備考欄に詳しく記載してください。

### ※【調査票 1 について】

・リワークの場合は、備考欄に『リワーク』と記載してください。

# 記載上の注意事項

# 別紙2

【別紙1】【別紙2】と、この表の下の留意事項をよく読んでご記入ください。

名古屋市内の事業所  
名古屋健康福祉局障害福祉部障害者支援課(飯田・村上)宛  
(a2659@kenkofukushicity.nagoya.lg.jp)

R6.4.1~R6.3.31に就職した方のみ、この調査票に記入してください。  
目標は「2023/4/1」のように半角で入力してください。

【調査票1】障害者施設等における一般就労への移行状況(令和5年度) **新**

利用者へのサービス提供時間帯: R5.4.1~R6.3.31の間に、公共職業安定所で求職登録していた人の実人数(当該期間中に一般就労した人も、R6.3.31時点で求職中の人もどちらも含まず。)

【就労移行支援事業所のみ】R5.4.1~R6.3.31に当該事業所の利用を終了する者の数 **★注意**(利用終了の理由を問わない。)

一般就労移行したケースの有無(無の場合は、下の欄は記入不要です。)

「2023/10/1」のように入力してください

事業所番号	性別	年齢 (0歳以上現在)	障害 種別	手帳 等級	障害 支援 区分	支給決定 市町村名	サービス 種類	就職日	② 就職先		仕事 具体的に記載 (主な仕事)	就業 日数 (週)	就労 時間 (週)	就労 日数 (週)	就職日	離職理由	離職後の状況	就職に至る経緯							職場定着 支援 の実施 (実施)	就労定着 支援事業 の利用開始 (実施)	備考											
									業種 コード	企業名								職種 コード	①	②	③	④	⑤	⑥				⑦										
0	記入例	28	身体(肢体)	3級	区分2	名古屋市	就労移行	R5.4.1	2	〇〇ストア	スーパーのバックワードの倉庫らし、重い物の取扱	4	20	〇					〇	〇																		
1234567890	女	35	知的	4度	区分3	春日井市	B型	R5.6.2	3	〇〇老人ホーム	ヘルパーの補助	5	20		R5.8.31	人間関係	現在当事業所に通所中	〇																				

④ 該当者が6人以上いる場合は、この行を必要な数だけコピーし、表に行を追加して入力してください

【業種コード】  
1 製造業 9 金融業  
2 卸・小売業 10 郵便業  
3 社会福祉 11 建設業  
4 教育 12 不動産業  
5 医療 13 宿泊業  
6 サービス業 14 水道・電気業  
7 飲食業  
8 公務

【職種コード】  
1 軽作業  
2 事務  
3 清掃  
4 販売  
5 製造  
6 介護  
7 調理  
8 接客

【★注意】※就労移行支援事業所のみ  
利用終了者については、就職につながらず途中で事業所の利用をやめた人だけでなく、就職して利用を終了した者も含めてカウントしてください。  
\* 就職して職場定着支援に移行した人は、就労移行支援事業所の利用終了者としてカウント  
\* 就職した後、改めて就労移行支援の利用について支給決定し、一時的に就労移行支援を行っている場合も利用終了者としてカウント(例)働き初めに段階的に時間を増やすことを目的に、就労移行支援を行っている場合 など  
\* 同一法人内で別の事業所に異動した場合も、利用終了者としてカウント(事業所単位で調査を行っているため)

※令和5年4月1日から令和6年3月31日まで一般就労へ移行したすべてのケースについてご記入ください。(離職者も含む。)

※一般就労とは、一般企業等に就職した者(就労継続支援(A型)利用者を除く)、在宅就労した者及び自ら起業した者を含みます。また、常勤、非常勤や就業時間の多寡は問いません。

※上記の枠数で実績が収まらない場合は、行を追加入力してください。

※障害種別について、複数障害の方等は其中で最重度である障害種別を主な障害種別として選択してください。

※障害支援区分につきましては、判定されていない場合は「-」を入力してください。

※就職日、離職日の正確な日付が不明な場合は、便宜上、就職日は月の初日、離職日は月の末日としてください。

※サービス種類については、就労移行支援は「就労移行」、就労継続支援A型は「A型」、就労継続支援B型は「B型」、生活介護は「生活介護」、自立訓練(生活訓練)は「自立(生活)」、自立訓練(機能訓練)は「自立(機能)」、地域活動支援は「地活」を選択してください。

※就職に至る経緯については、以下の事項に該当する場合にそれぞれの番号に対応するマスに○を記載してください(複数回答可)  
①公共職業安定所で求職登録した者 ④職場適応援助者(ジョブコーチ)を利用した者  
②障害者委託訓練または職業訓練を受講した者 ⑤障害者就業・生活支援センターの支援を受けた者  
③障害者試行雇用事業(トライアル雇用)を利用した者及び利用中の者 ⑥障害者職業センターの支援を受けた者  
※「利用した者」は○、「利用中」は△を記載してください。 ⑦他の障害者就労支援事業所と併用した者(備考欄に事業所名を記載)

※職場定着支援の実施は、就職後6ヶ月の間に就労定着支援事業所の利用に向けて、就労定着支援事業所や特定相談支援事業所等と連絡調整を図った場合に、○をしてください。【就労移行支援事業所は義務】

※就労定着支援事業の利用開始(見込)は、  
\* 就職後、就労定着支援事業の利用実績がある場合(現時点で利用していない場合も含む)に、○をしてください。  
\* 就職から6ヶ月未満で就労定着支援事業の利用期間前の場合には、今後、利用する見込がある場合に○をしてください。

項目	留意事項
新項目	利用者さんへのサービス提供時間帯「00:00~00:00」で記載してください。
1 (水色セル)	必ずプルダウンから選んでください。※手入力による上書きはしないでください。
2 (桃色セル)	「就職日」と「離職日」の表記について、半角数字で、「yyyy/mm/dd」で入力してください。 (例:「2023/09/30」 ⇒自動で「R5.9.30」に変換されます)
3 (緑色セル)	1日当たりの就労時間数ではなく、1週間の就労時間を入力してください。
4 (表の赤枠)	5名以上の場合は『行』を増やしてください。ファイルやシートを追加しないでください。